

## 福島日仏協会令和3年度総会・理事会開催

今年度総会は、新型コロナウイルス感染者数の沈静化が不透明な為、昨年同様極力委任状を頂いて最小人数の役員・運営委員の出席をお願いし出席者85名（内委任状出席74名）で7月6日（火）ザ・セレクトン福島で開催しました。

議事審議は、令和2年度事業報告・収支決算の報告と令和3年度事業計画・収支予算があり原案通り可決されました。

【事業報告】フランス語会話教室授業がコロナ禍で4、5月の中止分を6月以降に繰り延べして予定通り30回開催し受講生の要望に応えられたこと、一方料理（月曜・水曜2コース）教室は会場閉鎖の影響もあり8回の教室開催予定が両コースともに4回ずつ開催で終了し、教室人数が会場側から8名以内の制限が継続され、現在も希望者が受講出来ないことが報告されました。何よりも会員参加の“総会・Xmas会・新年会”の懇親の場がないままの1年だったのが残念でなりません。3月29日にフィリップ・セトン駐日フランス大使閣下歓迎懇親会を立食ノンアルコールで開催して大使御一行にご満足いただけことが年度末の活動成果でした。（年度末会員数は101名）

【収支決算】収益が費用を若干上回りプラスの収支決算が報告されました。

【事業計画】会話教室・料理教室の会員増加に努めて受取会費収入を増やすこと。Xmas会、新年会の開催お知らせを、気兼ねなく出来る平穏な日々を願うことが話題となりました。

【収支予算】催事開催回数2回を見込んで来期収益も若干のプラスの予算の説明がありました。

総会終了後、令和3年度理事会を開催しました。

議案は、代表理事の選定です。瀬谷俊雄理事長(85歳)より、代表理事(理事長)任期を1年残して辞任したい旨の挨拶で「振り返れば、延べ16年間協会代表の任を全う出来たのはひとえに役員・会員の皆様のご協力の賜物で感謝致します。私の年齢になると施設のお世話になっている人もいます。ご迷惑をかけないうちに今後を託したいと思いました。活動規模は小さくとも大使館との交流を通してフランス文化の燈を灯してきている団体です。フランス大使も赴任のたび地方協会の中で目をかけて頂き来福されており、東日本大震災・原発事故直後の仏革命記念日パーティーを東京以外で初めて郡山市で開催して大盛況となり本国に感銘を与えた事は記憶に残る思い出です。お陰様で私まで、レジオン・ドヌール勲章授賞の栄に叙されました。今後も大使館と良い関係を築きながら皆様で活動されていくことを信じています。後任の理事長には㈱大七酒造の太田英晴社長が適任であると、私が伺ったところ内諾されました。太田理事を推薦します。」と話され、出席理事全員の賛同があり代表理事の選定が可決されました。太田英晴新理事長(61歳)から「酒造業として仏国往来の多い経験を生かして、代表理事として尽力したい。フランスを益々好きになりそうです。」と就任の挨拶がありました。

瀬谷理事長におかれましては、長年協会活動をご指導頂きありがとうございます。理事職としては在任されます。



ご挨拶される太田英晴新理事長 在任16年の瀬谷俊雄理事長



山川理事から記念品花束を受ける瀬谷理事長

art 福島県立美術館



福島県立美術館令和3年度企画展のみどころ

大規模改修工事のため休館しておりました福島県立美術館は、去る5月22日に、9ヶ月ぶりに、再開館いたしました。休館中は、釣り天井の改修や壁・床の張り替え等の諸工事を実施し、今後、来館者の皆さまには、より安全かつ快適な空間で、数々の美術作品とともに過ごす心豊かな時間をお楽しみいただけるものと存じます。

助走期間を終え、7月からは、本格的な企画展を開催しております。

現在開催中の「ミネアポリス美術館 日本絵画の名品展」は、全米屈指の日本美術コレクションで知られるミネアポリス美術館から請来した、中世から近代に至る日本絵画史を彩る50名以上の作家の作品を一堂にご覧

いただける大変贅沢な展覧会です。昨年来のコロナ禍が続く今だからこそ、五百有余年に及ぶ長い歳月の中で、様々な天変地異や戦乱、疫病と、幾多の災禍を乗り越えて、美を作り、それを守り伝えてきた先人達の想いの結晶ともいえる日本絵画の名品の数々が、より多くの来館者の皆さまに、安らぎや希望を与えてくれることを心より祈っております。また、雪村周継（会津、三春町）や谷文晁（白河市）など、福島ゆかりの作家の作品の里帰りも話題となっておりますが、日本とアメリカ、そして世界をつなぐ美の絆にも、是非ご注目ください。

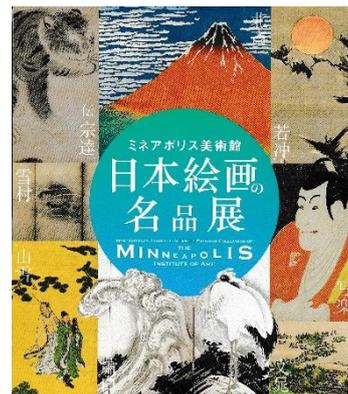
続いて、9月23日からは、子どもからお年寄りまで知っているドラえもんをテーマとした現代アート作品が並ぶ「THE ドラえもん展 FUKUSHIMA2021」を開催いたします。国内外で活躍する28組の作家が、それぞれの発想と手法で作上げた作品の数々から、現代アートの表現の多様性と可能性をご体感いただけるものと存じます。普段は美術館に足を運ぶ機会が少ない子どもさんや若い方々も含めて、ご家族揃って訪れていただける楽しく、夢あふれる展覧会にしていきたいと思います。

年度の後半は、福島ゆかりの写真家である瀬戸正人さんと動物写真家として知られる岩合光昭さんの2つの写真展、福島県内で活躍する若手作家の作品展を開催してまいります。コロナ禍で国内旅行も儘ならない昨今ではありますが、半世紀以上に渡り、アジア各地の人々や自然にレンズを向けてきた瀬戸作品、世界中の猫の愛らしい姿が魅力の岩合作品とともに、世界に想いを馳せる時間をお過ごしいただければ幸いです。

また、ご来館の際には、福島日仏協会の料理教室の講師も務められている菅野喜代治シェフが腕を振るレストラン「ミュゼ・ドゥ・カナール」でのお食事も、是非ご堪能ください。

駆け足でのご紹介となりましたが、半年以上に及ぶ長期休館を終えて、県立美術館が新たな一歩を踏み出す今年は、東日本大震災から10年となる節目の年でもあります。再開館にあたり、改めて、文化の力で、福島の復興を成し遂げていくという想いを新たに、魅力ある企画展の開催を始め、多くの県民の皆さまに喜んでいただける活動を続けてまいりたいと存じます。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。

福島県立美術館長 長根由里子



ミネアポリス美術館 日本絵画の名品展



THEドラえもん展 FUKUSHIMA2021

令和3年度企画展スケジュール

2021年 7月 8日 ~ 9月 5日	ミネアポリス美術館 日本絵画の名品展
2021年 9月 23日 ~ 11月 23日	THE ドラえもん展 FUKUSHIMA2021
2021年 12月 4日 ~ 2022年 1月 30日	瀬戸正人 記憶の地図
2022年 2月 8日 ~ 3月 6日	福島アートアニュアル 2022
2022年 3月 19日 ~ 5月 22日	写真展 岩合光昭の世界ネコ歩き2&どうぶつ家族

## 私のフランス語日記

Un jour, le mois dernier, mon portable a sonné. «Madame Kainuma...c'est votre tour le mois prochain.» «Eh bien...Je dois écrire quelque chose dans notre bulletin? Mais Je viens juste de commencer à apprendre le français à votre cours en avril l'année dernière.» «Écrivez ce que vous voulez, s'il vous plaît.» «Alors... J'essaierai.» Depuis je n'ai pas décidé ce que j'écrirai et j'ai décidé de choisir mon sujet dans la classe de français suivante.

Nous avons étudié les logements cette semaine. Mon camarade de classe a parlé d'une auberge unique près d'Amanohashidate. «À propos, où sont les 3plus beaux paysages du Japon (Nihonsankei)?» «Amanohashidate, Miyajima et Matsushima.» «Pourquoi tous les trois sont à côté de la mer? Le Japon est un pays montagneux et il y a beaucoup de paysages magnifiques de la montagne.» J'ai pensé que Madame Sarde adore les montagnes japonaises et la mer ne l'attire pas tellement parcequ'elle vient de Marseille. «Matsushima était un lieu de rêve pour beaucoup de monde surtout pour les aristocrates et les poètes dans le passé. Les montagnes sont sacrées et elles sont liées au shintoïsme. Elles sont dans une catégorie différente, je pense.» Et puis j'ai fait des recherches sur Nihonsankei chez moi.

Un érudit, HAYASHI Shunsai, a écrit une œuvre: Nihonkokujisekiko (de l'héritage du Japon) en 1643 à l'époque d'Edo. Il a introduit Amanohashidate, Miyajima et Matsushima comme les trois vues les plus célèbres du Japon. Le Japon est entouré par la mer. Matsushima est un archipel du côté de Sendai dans une baie sur l'océan Pacifique. Amanohashidate est un bras de terre traversant la baie de Miyazu, qui donne sur la mer du Japon. Miyajima est célèbre pour Itsukushima-jinja (sanctuaire shintoïste) et est connu pour son torii flottant dans la mer intérieur de Seto. En comparant trois vues dans l'esthétique japonaise, Matsushima est la lune, Amanohashidate est la neige et Miyajima est la fleur (feuilles rougies de l'automne). Le 21 juillet est le jour de Nihonsankei parceque ce jour est l'anniversaire de HAYASHI Shunsai. J'ai beaucoup appris. Enseigner, c'est apprendre!

A vrai dire, je suis interprète d'anglais depuis environ quinze ans. Quand je sers d'interprète pour des étrangers, ils me bombardent de questions. «Pourquoi on doit enlever ses chaussures?» «Pourquoi on dit Itadakimasu, et Gochisosama?» «Pourquoi les samouraïs portent un sabre côté gauche? Comment les samuraïs gauchers faisaient-ils?» «Pourquoi les familles des mariés en kimono noir ont l'air tristes lors de la cérémonie?»

Quand des étudiants français, taïwanais et japonais ont visité la région sinistrée dans Hamadori (bord de l'océan Pacifique). Un des étudiants français, qui est originaire de

6月のある日、携帯が鳴った。「貝沼さん、来月は貝沼さんの番になってます」「えっ、私何か会報に書かなければならないんですか？ 去年の4月にフランス語教室に入ったばかりなんです」「お好きな事なんでもお書きになって結構ですのでお願いします」「じゃあ、やってみます。」それ以来何を書くか決められず、結局その週のフランス語のクラスの話題がなんでであろうと、それについて書こうと決めた。

その週の授業で私達は宿泊施設について学んだ。クラスメートが天橋立の近くにあるユニークな宿について話した。イザベル先生が、「ところで、日本三景は？」「天橋立、宮島、松島です」「なぜ全部海沿いなのかしら？日本は山国でたくさん素晴らしい山の景色があるのに」イザベル先生は山がお好きなのだ。そして出身はマルセイユだから海は珍しくないんだと思った。「確かに…でも松島は昔から王朝貴族や詩人たちには憧れの地だったし、山は聖なるもので、神道と関係しててちょっと風景のカテゴリーとは違うんじゃないかなと思う」そう説明した。家に帰って調べてみた。

1643年江戸時代の儒学者林春斎は彼の「日本国事跡考」に最も美しい風景として三景を紹介した。日本は海に囲まれている。それで、松島は太平洋に通じる仙台湾にある島々、天橋立は日本海に伸びる砂州、宮島は瀬戸内海に浮かぶ厳島神社。三景を日本の美意識の象徴である雪月花に例えれば、松島は月、天橋立は雪、紅葉の宮島は花。7月21日は日本三景の日。調べてみてたくさん知ることができた。Teaching is learning! 教えることは学ぶことだ。

実は、私は15年程英語の通訳をやっている。外国人相手に通訳する時、いつも質問攻めにあう。何故靴を脱ぐの？何故いただきますやごちそうさまを言うの？何故注文していない“お通し”にお金を払わなくちゃいけないの？何故侍は左に刀をさしているの？左利きの侍はどうしたの？何故結婚式で花婿花嫁の親族は黒い着物で悲しそうにしているの？

フランス、台湾、日本の学生と浜通りの被災地を訪れた時、彼らの討論で、コルシカ島出身のフランスの大学生のひとりが「何故漁業組合は魚介類の放射線基準を国の基準より自主的に厳しくしているの？その曖昧さに疑いを持つんじゃない？逆効果なんじゃない？」と聞いてきた。

質問や回答をできるだけ正確に訳し、私への全ての質問に丁寧に答えている。彼らが疑問を持つには理由がある。そして、全ての質問の答えにも理由がある。それらはすべてそれぞれの歴史、文化、気候、地理、慣習、しきたり、価値観、宗教、民族性、人間性などに関係

l'île de Corse, a posé une question dans leurs débat, «Pourquoi la coopérative de pêche a-t-elle volontairement décidé la valeur standard pour les radiations radioactives dans les poissons et coquillages plus strict que la valeur standard nationale? On aura des doutes sur cette attitude vague? C'est plutôt l'effet inverse?»

J'interprète toujours aussi exactement que possible les réponses. Je reponds à leurs questions avec soin. Les doutes et les questions ont toujours des raisons et causes. Toutes les réponses ont des raisons. Elles ont profondément des rapports à l'histoire, à la culture, au climat, à la géographie, aux coutumes, à la tradition, aux valeurs, à la religion, au caractère ethnique, à l'humain, etc. C'est très intéressant.

J'ai moins de travail à cause du COVID-19. J'ai profité du temps libre pour apprendre le français dans la classe. Je voulais tenter quelque chose de nouveau. La nouveauté excite toujours la curiosité dans la vie.

C'est vraiment très intéressant!

Michiyo KAINUMA

次回は、川崎豊さんお願いします!

する。本当に興味深いのだ。

コロナ禍で仕事が減った。空いたその時間を利用してフランス語教室で習い始めた。新しい事に挑戦してみたかった。新しい事はいつでも人生の刺激となる。誠におかしれえ!

会話教室受講生 貝沼実千代



南仏の海岸 コート・ダジュール



ジベルニー モネの庭



ロワールの古城  
シュノンソー城

## フランス・オペラ

オペラというと、イタリア・オペラやドイツ・オペラが主流であるが、フランス・オペラも負けない。ヨーロッパでは長い間、オペラの主流はイタリアであり、言語もイタリア語でなければならなかった。モーツァルトの初期のオペラで使われる言語はドイツ語ではなくて、イタリア語である。イタリア・オペラは欧州を席卷したが、イタリア語のわからないフランス人にとっては不評であった。そこで「フランス語のオペラを作れ!」とルイ14世が号令をかけて、1671年にはパリにオペラ座が誕生した。フランス人の作ったオペラはフランス語である。フランス・オペラというと、ビゼーの「カルメン」がとびぬけて目立っているが、それ以外にも良い曲がある。ざっと挙げてみても、ファウスト(グノー)、ウエルテル(マスネ)、タイス(マスネ)、真珠取り(ビゼー)、ホフマン物語(オッフエンバック)、サムソンとデリラ(サン

＝サーンス)などがあげられる。オペラ「サムソンとデリラ」で歌われる『あなたの声に私の心は開く』は何とも言えない美しいメロディで、一度聞いたら忘れられない。何といってもフランス風軽妙さと叙情性に加えて、甘美なメロディと美しいフランス語により特徴されるのがフランス・オペラである。オペラのテーマは元来、恋愛・殺人・不倫などが主なテーマであるが、フランス・オペラはやわらかな旋律で不倫も許せそうな感じである。

イタリアのコモ湖畔に Varenna(ヴァレンナ)という人口800人位の小さな町がある。コモ湖は漢字の「人」の形をしており、人の字が交わる所に Varenna がある。コモ湖に面し、石畳の細い道が入り組んだ、鄙びた雰囲気のある町で、お忍び旅行にぴったりといった感じである。ここにある Hotel Royal Victoria というホテルに以前泊まったことがある。名前からは高級ホテルを想像するが、まったくの中級のホテルである。このホテルには昔、フランス人作曲家のシャルル・グノーが滞在して、コモ湖に沈む夕日を眺めながら Ave Maria を構想したという。確かにバルコニーから眺めるコモ湖はとても素晴らしく、グノーもこんな雰囲気の中で作曲をしたのだという実感を持った。滞在中に船着き場から船に乗って、対岸のベラッジオ、メナッジオなどいろいろな街を訪れることができた。



イタリアのコモ湖



湖畔の町ヴァレンナの石畳

土屋敦雄(会員)